

長崎南北幹線道路 地域の方々との意見交換会（結果報告）

長崎南北幹線道路について、地域の方々に概要・整備効果・ルート選定状況についてご説明し、多くのご意見をいただきました。

年始のご多忙の中、多くの皆様に足をお運びいただき、厚くお礼申し上げます。
皆様の貴重なご意見は、今後のルート選定に活用させていただきます。

皆様から頂いた意見の概要は次の通りとなっています。

【主な意見】

（早期整備・計画賛成の意見）

- このように発表したからには早めに行えるようにしてもらいたい。
- 国道206号の交通渋滞の対策のため、早く進めて欲しい。

（ルート選定に関する意見）

- 経済性だけでなく、早期完成のメリット、用地交渉のコスト、景観への配慮など総合的に判断すべきではないか。
総合的に判断していきたい。
- 浦上川線のように河川の上を通すことができないのか。
河川に連続して橋脚が設置できないことや、河川を跨ぐ門型橋脚は不経済で用地買収が必要で市街地への影響も生じるため、困難である。

（車線数に関する意見）

- 2車線であれば、低速車への配慮やあおり運転への対応など、快適に走行できるよう追越車線や待避所の設置などができないか。
整備区間が長くないことや費用面を踏まえ、検討課題だと考えている。
- 長崎B Pと同じように将来的に4車線の整備となるのか。
2車線の計画である。

（IC等に関する意見）

- 西町から近い市道（虹が丘西町1号線）にICが作れないか。茂里町や滑石ICまでは遠くメリットが感じられない。
この道路は長距離移動、国道は短距離の交通とすみ分けが必要。ICを多く設けると短距離移動も混在することから、滑石にICを設けたいと考えている。
- 今回の区間にはICが少ないようだが、茂里町から滑石の間にICができないのか。
長距離移動の交通を担うため、ICの数は限っていく必要があると考えていない。
- 滑石ICは、国道から入りすぎると渋滞が解消しないのではないか。
ICの位置は、大きな2つの交差点の間を考えており、国道からそれほど離れない。

（事業化や完成時期等に関する意見）

- 事業完了までどれくらいかかるのか。
事業費と年間予算から想定すると、10数年程度になると考えている。
- 着手までどれくらいかかるのか。
数年かかると考えている。

- この道路の妥当性や必然性を説明するために、完成時期を示すべきでないか。
現時点で着手時期はお示しできない。

(地域に関する意見)

- 滑石は今でも渋滞がひどいが、更に佐世保方面からの車加わることで更に混雑するのではないか。
国道の横道交差点が受け持っていた通過交通を滑石ICと2箇所での処理することになり、交通量が分散することになると考えている。
- 西北町から乗降できないので、この道路のメリットがない。
この道路により国道や市道の渋滞が緩和されるメリットがある。

(西彼杵道路に関連する意見)

- 南北幹線が完成するころには、時津以北(西彼杵道路)は完成しているのか。
時津工区3.4kmを令和4年度の完成を目指しているところ。その以北は、ルートや整備の進め方について検討をしているところである。
- 井手園交差点は、立体交差になるのか。
平面交差のままであるが、令和4年度の時津工区の整備に合わせて交差点改良を進めている。

(その他)

- 完成するまで時間がかかるので、それまで川平有料道路や西山バイパスを無料化するなどの渋滞対策を検討してもらいたい。
償還金が残っており、早期の無料化は難しい。
- この道路は生活道路なのか物流や経済のための道路なのか。滑石地区に住んでいるので、先に日常生活に便利な道路を作って欲しい。
長距離移動は南北幹線を、短距離移動は国道を利用することで、国道の慢性的な渋滞が緩和され、本来持つ生活道路の機能が果たされるようになって考えている。
- 井手園交差点は非常に混んでいるが、この道路でどう変わるのか。
時津工区の完成時点では、井手園交差点を経由するため、交差点改良を行っている。
将来、南北幹線が繋がると、井手園を経由することなく、国道の交通量が転換するので、渋滞が緩和されることになる。
- 予算が厳しい状況なので、有料化し早期整備ができないか。
- 有料道路であれば、利用者の経済負担が大きい。生活道路として考えれば、無料が基本ではないか。これだけ便利な道路を作って効果があるなら無料にすべき。
有料化については、今後総合的に検討する必要があると考える。
- トンネルが長くて対面通行であれば、交通事故の危険性も高くなるのではないか。
安全に通行できるよう十分な幅員を確保したい。